

こ こ が 聞 き た い 一 般 質 問

一 般 質 問

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。



山口耕司議員

Q: 庁舎内における市民サービス向上の取組について

A: おくやみハンドブック作成など、各課への移動が少なくなるよう調整していく。

おくやみコーナーの設置について

(1) おくやみハンドブックの作成について

山口 五條市で、過去5年間の死者数は、2, 365人。

御遺族に必要な情報を分かりやすくまとめて伝え、手続き漏れなどで市役所に何度も足を運んだり、市役所のあちこちに電話して確認する等の負担を少なくするためのハンドブックの作成を求める。

すこやか市民部長 亡くなった方に関する必要な手続きを分かりやすくまとめた「おくやみハンドブック」を作成して御遺族の方にお渡ししてまいりたい。

(2) おくやみ相談窓口の設置について

山口 大切な方を亡くされた御遺族に少しでも負担の

ない手続きを行っていただけけるよう、お悔やみ相談窓口の設置を求める。

すこやか市民部長 「おくやみハンドブック」でどのような手続きが必要なのかを事前に知っていたら、相談の結果、各課への移動が少なくなるよう担当職員が市民課窓口へ赴き、手続きを行ってもらえるよう調整してまいりたい。

庁舎等の男性トイレにサニタリーボックス設置について

山口 前立腺がんや膀胱がん等の病気の方や、頻尿等により尿漏れパッド・おむつ等を使用している方に安心して外出していただけるように、市役所本庁舎男性用個室トイレにサニタリーボックス(汚物入れ)の設置を求める。

総務部長 設置については、

庁舎総合管理業務の更新時期である本年11月に計画している。

ふれあい収集の実態と今後の取組について

山口 平成24年12月議会で「高齢者・障害者のごみ収集」の必要性を訴え、平成25年10月から「まごころ収集」の事例を参考に開始された。令和3年3月に環境省から「高齢者ごみ出し支援制度導入の手引き」で、持続的に運用する指針が示されている。

本市では65歳以上で要介護2以上の取り決めもあり、今後多くの方が利用できるよう改善を求める。

あしん福祉部長 現在21名の方が利用。今後、高齢者のみの世帯が増加すると考えられ、収集部門の産業環境部と連携し対象者の見直しの検討をしてまいります。

その他の一般質問

◆地域公共交通の路線と停

留所の増設について

◆自治会等のデジタル化について

①自治会の加入状況について

②支援の必要性について

③デジタル化による再構築について

◆熱中症対策の推進について

①熱中症から地域住民の生命を守るための取組の推進について

②高齢者の熱中症に対する予防への意識を醸成するための取組について

◆GIGAスクール構想の取組について

①利活用の現状について
②課題について



Q: 道の駅建設について

A: 京奈和自動車道とも関連した場所で検討していく。



窪 佳秀議員

夢のある五條市に向けた取組について

窪 新金剛トンネル実現に向けての取組について伺う。

市長 新金剛トンネルの構想は、南和地域の玄関口として中心的役割を果たす。奈良や大阪側の経済発展と

地域振興に加え、観光振興等大きな効果がある。関係市町村の意見をとりまとめ

全体計画を策定し、整備の必要性を国・県へ要望する。

窪 道の駅建設の取組について伺う。

市長 道の駅は五條市の活性化に必要な施設である。

北宇智地区において農業体験交流拠点整備の計画がある。施設整備の効果を踏まえ検討していく。

窪 農業体験交流拠点整備計画は、市民が望んでいる道の駅とは異なる。五條市

を含め南和地域の活性化のために、通行量が増加している京奈和自動車道インター周辺で道の駅が必要である。

る。考えを伺う。

市長 五條市のさらなる発展に必要な施設であるため、京奈和自動車道とも関連した効果的な場所で検討していく。

窪 今後のスケジュールについて伺う。

市長 北宇智地区の交流拠点施設と道の駅整備の相乗効果に着目し、道の駅整備に関するロードマップを検討する。

窪 道の駅にもいろいろな目的をもつ施設がある。国・県からのアドバイスを受け検討していただきたい。

大規模広域防災拠点について

窪 県からの聞き取り状況について伺う。

市長 副知事が来庁し面談、本市の意向をお伝えした。地元の用地取得等の経緯、

早期の事業着手を望むという趣旨も伝えた。

窪 取得した用地管理、県消防学校の移転等も併せ、



粘り強く要望を行っていた
いただきたい。

働き方改革について

窪 正規職員・会計年度任用職員の現状について伺う。

市長公室長 正規職員36

2名、会計年度任用職員2

81名、合わせて643名

である。

窪 役職を兼務している現状について伺う。

市長公室長 58名の職員が

兼務している。係長以上の

3割である。

窪 職員は、役職により仕事内容が異なる。会計年度任用職員に任せられない仕事内容がある。兼務職員に

負担がかかっている。正規職員数が不足しているのか、機構改革が必要なのか検証する必要がある。

限られた人員の中で市民サービスを維持していくには、正規職員間の助け合いが必要である。コミュニケーションを取るためにも福利厚生が必要である。取組について伺う。

市長公室長 本年度からクラブ活動の助成事業を行っている。コロナ禍で職員間のコミュニケーションが不足している。クラブ活動を促進することにより組織の活性化を図る。

窪 職場環境改革のための推進会議の立ち上げについて伺う。

市長公室長 部次長会等の

枠組みを活用し職場環境改善の議論を深め、働き方改革推進に取り組み、

窪 庁内の活性化を図り、職員が生き生きと働ける職場環境作りをお願いする。

Q：高齢者世帯等に対する緊急時のサービスについて

A：急病・災害時の通報システムや、看護師によるお元気コールなどを実施している。



秋本直嗣議員

レンタルモバイルバッテリーサービスの取組について

秋本 現在、市が主体となつてレンタルモバイルバッテリーを設置している実績はあるのか伺う。

総務部長 現在、市が主体となつて設置しているという実績はない。

秋本 手のひらサイズの小さな充電器を自動販売機のように設置することによつて誰でも手軽に充電ができるサービスを、例えば五条駅などに設置すれば、通勤通学の待ち時間や、塾の帰りで親御さんに連絡をする学生のスマホの電源が確保でき、通勤通学の利便性が向上すると思われる。



また、市役所などの施設に設置できれば災害時等の緊急時に連絡の手段が確保され、避難者の情報収集などにもつながり有益であると思うが、それらの施設に設置の検討はできないのか伺う。

総務部長 都市部などの駅などで設置されているケースが見受けられるが、現状設置はされていない。

また、災害時には市役所庁舎においては自家発電設備を整備しており、避難所には蓄電池を整備している。現状はそれらにより電源の確保は可能であり、設置の予定はない。

秋本 新型コロナウイルスが5類となり、アフターコロナを見据えて人流増加の可能性もある。それにより今後需要が見込まれる場合、前向きに導入を検討してもらえるか。

総務部長 社会情勢の変化

などにより、設置の申出等があった場合は速やかに検討していく。

高齢者世帯の安全確保について

秋本 高齢化率30%を超える五條市において、一人暮らし、高齢者夫婦世帯も多し、緊急時の通報駆けつけサービスなど様々なサービスがあるが、現状はどのようなものがあるのか伺う。

あんしん福祉部長 65歳以上の一人暮らしの方及び重度の身体障害等をお持ちの方を対象とした、急病や災害時の通報システムを導入している。また、緊急時のみならず24時間いつでも看護師等に相談できるほか、看護師による月1回のお元気コールも実施している。

秋本 緊急通報装置が導入されていること、また利用料金などの周知はどのように行なっているのか伺う。

あんしん福祉部長 しおり

や市のホームページ、また地域の民生児童委員等をおして周知している。

秋本 高齢の方などホームページ等の閲覧が難しい方も多いと思われる。今後さらに分かりやすく、市の広報などを活用し、より多くの方に周知していただけるようお願いする。

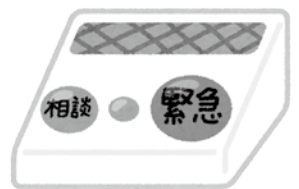
その他の一般質問

◆観光行政について
①レンタルサイクルの状況について

◆働き方改革、職員の現状について

①メンタルヘルス不調による長期病休者の割合について

②メンタルヘルス不調を防ぐための市の対応について



Q: 公約実現の財源について

A: 未利用の土地・建物について、売却や貸付等を積極的に行っていく。



岩本 孝議員

職員の健康について

岩本 職員数は。

市長公室長 令和3年度、正規職員396人、会計年度任用職員295人の計691人。令和4年度、正規職員371人、会計年度任用職員275人の計646人。令和5年度、正規職員362人、会計年度任用職員281人の計643人である。

岩本 長期休職者数は。

市長公室長 5人である。

岩本 中途退職者数は。

市長公室長 令和3年度が20人、令和4年度が27人である。

岩本 令和3年度から採用された人数は何人か伺う。

市長公室長 令和3年度が12名、令和4年度が15名、令和5年度は17名である。

岩本 時間外勤務の削減へ向けた市長の考えを伺う。

市長 職員が減少しているのは事実であり、マンパワの確保は喫緊の課題であ

ることは認識している。当然職員採用も行っていくが、平行して業務の見直しも進めながら時間外勤務の削減をはじめ、知恵を出し、工夫をこらしながら魅力ある職場環境づくりに取り組んでいく。

岩本 限られた職員の中で全ての職員が心身共に健康で職務に取り組むとともに、決して「冷や飯を食う」職員がいらないよう職員一丸となつて「五條サービス株式会社」の運営に努力していただくようお願いする。

市長の政治姿勢について

岩本 子ども医療費の完全無償化について伺う。

すこやか市民部長 令和5年4月から高校生世代まで一部負担金1月当たり1医療機関（一診察料）通院500円、入院1,000円を除き無償とした。更なる負担軽減を図るため、助成金の一部負担金撤廃、医療

費の完全無償化に向けて取り組み。

岩本 子ども医療費の完全無償化に伴う費用は。

すこやか市民部長 医療助成金の一部負担金を撤廃することによる費用が780万円、福祉医療システム改修等の事務費がおよそ340万円など、初年度には1,200万円の費用を見込んでいる。

岩本 市長の公約である小中学生の「給食費の無償化」について伺う。現在の小・中学校の給食費の保護者負担額は。

教育部長 令和5年度から小学校月額4,000円から4,800円に。中学校月額4,400円から5,200円に値上げしたが、増額した保護者負担分800円は公費で負担する。

岩本 財源確保は。

総務部長 現在市が予算化している子育て支援分1,386万9千円に保護者負

担給食費7,143万4千円を加えて総額8,530万3千円の費用が必要である。引き続き国の施策として給食費を無償化する要望と、市の遊休施設の処分等を検討するなど、実現に向けて取り組んでいく。

岩本 遊休資産の処分状況は。

総務部長 令和4年度は今井島台工業団地用地の売却のみで、売却金額は1億4,883万円である。今年度は未利用地2か所の公募入札を行ったが、入札申込みがなく不調となっている。

岩本 今後の処分はどのように行うか伺う。

総務部長 未利用の土地・建物について、購入したい方や利用したい方と直接対話することで新たな提案や有効活用の可能性を探るサウンディング型市場調査による意見を基に、売却や貸付等を積極的に行っていく。

その他の一般質問

◆有害獣対策について

Q: 通学路の安全確保について

A: 関係機関とも連携し進めていく。



吉田 正議員

学校適正化後の通学路の安全確保について

吉田 学校適正化が完結して新しい学区制度が実施され、それに伴って通学路が変わっているが、それらの通学路における子供達の安全確保について伺う。

教育部長 保護者の理解を得られた経路となっている。

吉田 今までの通学路上に駐車場がある場合はグリーンベルト等で一定の安全確保はされているが、そうでない方法で停車場に向かう子供達の安全確保対策は取っているか、また実情は把握しているか伺う。

教育部長 十分でない所もあると認識している。今後速やかに安全対策を進める。
吉田 子供達は既にそこを通学しているわけである。早急に実施していただきたい。私の知っている通学路においては、車が来るとガードレールに身を押しつけるようにして子供達が車を



よけているといった状況もある。とても安全な通学路とは言えない。市長も市議会議員時に通学路に関して関心を持っておられたと記憶しているが、お考えを伺う。
市長 関係機関とも連携して進めていきたい。

吉田 安全が確保しづらい道路の改良工事に関しては国からの助成があると聞く。それらも利用して早急の安全確保をお願いする。

スクールバスの運行方法について

吉田 現在、指定された旧校区の児童、また通学距離が6キロメートル以上の中学生についてはスクールバスの利用が可能と理解しているが、その通りか。

あわせて、この6キロメートル以上といった根拠も伺う。

教育部長 片道小学生3キロメートル中学生6キロメートルは、国の遠距離通学規定に準じている。

吉田 児童は指定された停車場で乗り降りするが、以前ある議員からの質問で運行経路上の中学生は乗せられないのかとの質問があったと記憶しており、できないとの答弁であったと思うが、例えば、西吉野、大塔方面から来るバスは朝は五條南小学校で児童を降ろし、次に五條中学校まで生徒を送るようになっていくが、五條南小学校で児童を降ろすと当然空きができるので、そこに付近の希望する生徒を五條中学校まで乗せるといったような運行は可能か伺う。



教育部長 それらを含め安全面に支障がある場合について検討をしている。

吉田 このような話はこういった場合に限らず他の路線でも考えられると思うが、中学生のスクールバスの利用規定を見直す考えはないか市長に伺う。

市長 スクールバスの利用に関する安全確保の検討を指示している。

吉田 教育の充実に費用対効果は求めるものではないと考える。不合理なところがあれば直していき、現状を把握して今に合った運営をすることが大事だと考える。市長と教育長に、これからの学校教育に対するお考えを伺う。

教育長 地域力、学校力、生きがい、家庭教育力作りに取り組み。

市長 確かな学力、豊かな力、健やかな身体と安全の観点で取り組む。

Q: ゴーちゃんバスの運賃 200円から100円にする との公約の実現の見通しについて

A: 可能な限り早期に実施できるように取り組む。

藤富美恵子議員



市長の公約について

藤富 市長は、市長選挙に

おいて「安心して暮らせるまちづくりの実現」として、様々なことを公約していた。その中から、市民交流施設の建設についてお尋ねする。

市長は、旧市役所庁舎の跡地に図書館、ホール、多目的室等を有する市民交流施設の建設を公約していた。図書館等の市民交流施設の建設については、令和3年10月9日に、「五條市新庁舎整備委員会」委員長の池上俊郎氏より、「旧庁舎の跡地利用に関する答申書」が出され、

○図書館を中心とした学びと交流の場づくり

○五條新町と連携した観光交流拠点づくり

○周辺公共施設の機能集約化による施設の目的の複合化

が挙げられている。

また、議会においても、令和4年10月6日に、「旧

庁舎跡地利用検討特別委員会」を開催し、旧庁舎跡地には、図書館やホール等の建設が望ましいと決定した。その後、令和4年12月27日に、前市長がイオン・リテール株式会社、奈良交通株式会社、株式会社南都銀行と「五條市のまちづくりに関する基本合意書」に調印したこと

から、イオン五條店と奈良交通五條バスセンター敷地の建設の候補地となった。イオン近辺は浸水想定区域に指定されていること、また、市の土地ではなく民間の土地であることから、図書館やホール等については、旧市役所庁舎跡地に建設するのが望ましいと考え

るが、市長の考えを伺う。

市長 私の所信表明でも述べたとおり、すべての世代の憩いの場づくり、市民活動や生涯学習の場としての充実した図書館やホール機能等を有する市民交流施設

の整備は急務と考えている。これらを検討するにおいて、イオン五條店を中心としたエリアに図書館やホール機能と民間機能を集約した施設整備の議論が開始されている。

旧庁舎跡地周辺とイオン五條店周辺の両エリアは共に本市の主要幹線である国道24号に接し、重伝建地区である五條新町を抱える本市の中心部、まちの顔となる場所である。

今後においては、市民の意見や関係者の議論を踏まえながら、よりよい施設整備に向けて、財政面も含めて総合的に判断してまいりたいと考えている。

なお、イオン五條店の敷地の一部は浸水想定区域に指定されているが、法令等に基づき利用者の安全確保についても併せて検討を行うってまいる。

市役所庁舎南玄関の受付の必要性について

藤富 市役所の駐車場が庁舎の南側にあるため、来庁者のほとんどの方は南玄関から入って来られる。

南玄関にも受付が必要であると思うが、市長の考えを伺う。

市長 南側からの来庁者についても案内窓口の必要性は認識しており、担当課に検討を行うように指示を行っている。

来庁者の利便性の向上に努め、親しまれる庁舎となるよう取組を進めてまいりたい。



藤富 五條市民の皆さんの期待に答え、「平岡市長を選んで良かった」と言ってもらえるよう、しっかりと働いていきたい。



Q: 必要のない事業は中止するよう新知事への要望を

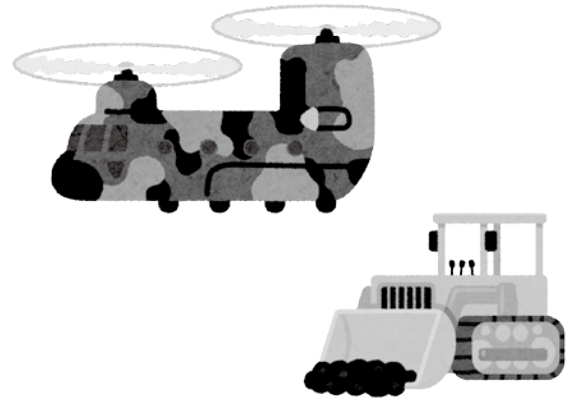
A: 県、地元と協議する中で必要な事項は要望する。

大谷龍雄議員

無駄遣いをなくし災害救援に効果のある防災拠点等を目指した奈良県知事への要望について

大谷 前奈良県知事の資料では、五條市への防災拠点整備については2,000メートル滑走路付きでは720億円、600メートル滑走路付きでは240億円必要となっている。600メートル滑走路でも自衛隊のC2輸送機やセスナ機も離着陸可能となっているので600メートル滑走路付き防災拠点を整備するよう、また、リニア中央新幹線工事の発生土を五條市まで運搬するJR和歌山線の新貨物駅新設については中止するよう、奈良県知事に要請すること。

同時に、災害発生直後の被害者救援には奈良県下12



市15町12村に配置されている消防署や分署・出張所及び消防団の力の発揮とともに、ブルドーザー等の重機を使い慣れている奈良県下すべての建設業協会に五條市と同じ救援協定をお願いするよう、新知事に要請すること。

さらに前知事の計画では京奈和自動車道五條西インターから五條市の防災拠点を經由し国道168号生子

付近までの約6,000メートルのバイパス道路を計画しているが、6月2、3日の大雨の時もこの2つの道路は通行止めになっているので、南海トラフ地震等では活用はできないのではないかと。したがってバイパス道路は中止し、五條市の防災拠点から被災地域への救援隊や救急物資の搬送はヘリコプターを重点とするよう、新知事に要請すること。

防災、減災対策としては災害に備えた対策が重要と専門家は強調しているが、奈良県と五條市は、個人の住宅の耐震補強工事の対象は木造住宅のみで補助額は上限50万円。和歌山県は木造住宅と鉄骨、鉄筋コンクリート造りも対象で、補助額も約100万円である。和歌山県並みに引き上げる

とともに、消防学校の建設を新知事に要請すること。

さらに前知事が計画しているリニア中央新幹線奈良市付近からJR関西線や和歌山線を通過し、和歌山県紀の川市から新しい線路を造って関西国際空港までの整備については、新知事に中止を要請すること。

危機管理監

本日（6月12日）山下奈良県知事が2,000メートル滑走路を備えた大規模広域防災拠点整備事業は見直しを行うと発表された。詳細については現在分かっていない。

都市整備部長

バイパス道路やリニア中央新幹線の発生土を五條市まで運搬する具体的な計画は確認できていない。県、地元と協議する中で必要な事項は要望する。

Q: 子供が県外で受診する場合の償還払いを現物給付とすることについて

A: 伊都医療圏のみであるが調整を図っている。

仲山 嘉議員



市長の所信表明について

(1) 18歳以下の医療費完全無償化について

仲山 五條市には産婦人科、小児科が一つの病院にしかなく、多くの保護者が隣の橋本市へお子さんを連れて行き、診療を受けているのが現状である。

その場合、県外なので、まず一旦窓口で3割分支払い、その後市役所で申請をして3〜4か月後に返納されると聞いているが、現在の子ども医療費助成制度は五條市ではどのような制度になっているのか伺う。

すこやか市民部長 現在の子ども医療費助成制度については、医療費の自己負担割合の3割を一旦支払う立替払いの償還による助成制度になっている。

仲山 コロナ渦もあり、立て替えている間、非常に経



済的にも打撃を受けているご家庭もあり、シングルマザー、ファザーのご家庭もお子さんが体調を崩せば仕事も休まなければならず、その上立て替えなければならぬので、非常に大変といった声を多々耳にする。

県外での立替払い、保険年金課への申請による償還払いは、今後改善されることはあるのか伺う。

すこやか市民部長 今後橋本市とその周辺3町から構成される伊都医療圏のみとなるが、伊都医師会と連携して調整を図る。

仲山 橋本市で診療を受け

ているご家庭が非常に多いようなので、まずは伊都医療圏で現物給付による見通しが立っているのは子育て世代にとっても助かると思うが、国民健康保険加入の方の場合はまだ解決に当たらない。システム上対応が厳しい面があると思われるが、五條市としても速やかに現物給付できるように今後とも積極的に進めていきたい。

(2) 大規模広域防災拠点について

仲山 私の地元で進められている大規模広域防災拠点に関して、現状を伺う。

危機管理監 県では、昨今頻発している地震や異常気象による風水害などの大規模災害発生に備え、救助要員の集結、救援物資の集積・配送機能など優れた防災機能を有する広域防災拠点の整備を進めている。



仲山 昨日(6月12日)山下知事が記者会見で、大規模広域防災拠点の整備を實行しないと云われていたが、地元議員としては五條市に必要であると考えている。

地元の皆様にももう一度話を聞いた上で、これからも事業を進めていただきたい。

その他の一般質問

◆地域公共交通について

Q：地域住民の感情を裏切る県の政策に対する対応は

**A：当初の計画どおり整備していくよう
奈良県へ要望していく。**



福塚 実議員

大規模広域防災拠点について

福塚 県の説明会で、今後発生が予想される大規模災害に備えて、県内のみならず紀伊半島エリアを広くカバーすることを目的とした趣旨説明を聞かせていただいた。五條市の考えを伺う。
危機管理監 五條市も、必要な施設と考える。

福塚 先祖代々引継ぎ守ってきた土地の売却に同意した地域住民の感情を大きく裏切ることとなる奈良県知事の政策に対し、五條市の対応を伺う。
市長 この事業は、地元での理解、協力があがり、その効果が期待されていることから、当初の計画どおり整備していくように奈良県へ要望していく。

【整備イメージ】

I期 5haの平場を有する広域防災拠点

II期(約46ha) 600m級滑走路を有する大規模広域防災拠点

III期(約73ha) 2,000m級滑走路を有する大規模広域防災拠点

五條市の教育方針について

福塚 GIGAスクール構想の取組で、様々な理由で、学校に登校できない児童生徒に対してどのような対応を行っているのか伺う。
教育部長 オンライン授業

やAIDリルでの学習を、学年に応じて実施していく。

福塚 これからのGIGAスクール構想について、教育長の考えを伺う。

教育長 Society5.0やICT活用能力が高まることを期待して、「未来を生き抜く力」を身に付けられる環境の実現を目指していきたいと考えている。

福塚 学校教育において、インターネットやSNSの危険性について伺う。

教育部長 ネットトラブル、ネット依存等に関する講演会、スマホ・SNSに関する安全な利用について啓発活動も行っている。

地域公共交通を踏まえたシニアカーの有効性について

福塚 高齢者の移動手段として近隣地域への気軽な買

物など、お出掛けにはシニアカーが便利であり、活発に生活できるようにシニアカーの普及を促進する施策を検討する必要があると考える。新市長の下、地域公共交通のアンケート調査を実施されるとのことだが、シニアカーの使用状況やニーズなども調査してはどうか。

上野公園前のひまわり園について

福塚 市道大津相谷線工事完了後のひまわり園について伺う。

産業環境部長 市道工事完了後については、再開に向けて、今後の運営を検討してまいる。

こ こ が 聞 き た い 一 般 質 問

Q: さくら猫事業の予算について

A: クラウドファンディング型ふるさと納税などの寄附を募る予定である。



谷 勝啓議員

TNR保管場所の確保について

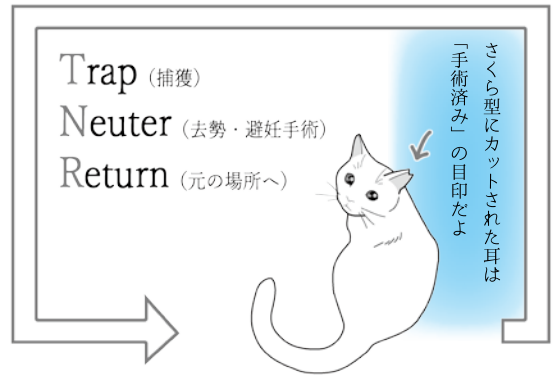
谷 五條市でも昨年来ボランティア団体と共にTNR活動に取り組んでいるが、飼い主のいない猫を保護した場合の保管場所を市で確保できないのか。

産業環境部長 飼い主のいない猫を保護した後、不妊手術前後の一時保管場所について、ボランティア団体とも協議しながら検証してまいりたい。

谷 予算の確保をどのように考えているのか。

産業環境部長 さくら猫事業を目的としたクラウドファンディング型ふるさと納税を行い、寄附を募る予定である。

谷 五條市の地域猫活動は遅れていると言われないように、ボランティア団体も頑張ってくれているので、よろしくお願いしたい。



ゴーちゃんバスについて

谷 高校生が五条駅まで帰ってきて、田園・なつみ台方面行きのバスとダイヤが合っていないため、長く待たないといけないと聞いている。

総務部長 高校生の下校利用が予想される時間帯で、電車とバスが適切に接続することが望ましいことは理解している。

認定子ども園駐車場の安全対策について

谷 子どもが寝ている部屋と車をバックで停める場所が1.5メートルくらいしか離れていないが、どのような安全対策をしているのか。車を止められる頑丈なポールを設置すべきではないか。

教育部長 バリケードの設置等を含め、さらなる安全対策を検討してまいりたい。

市営住宅について

谷 入居可能な空き家戸数は。

都市整備部長 現在入居可能な空き家は5戸で、修繕すれば入居可能な空き家は38戸である。

谷 夫婦で西吉野地区の市営住宅に住んでいたが、ご主人が亡くなり一人暮らしとなった。ご主人は運転免許を持っていたが、本人は単車の免許すらなく、足が不自由で歩くのが困難な状況で、スーパーのあるところに引っ越したいと言っていたが、五條市では、一度市営住宅を出て民間のアパートに移り住み、年に1度1回だけ行われる抽選に当たらないと別の市営住宅に入居できない。外れば家賃の高い民間アパートに住んで1年間待つて、それでも翌年の抽選に当たるかどうかは分からない。西吉野地区からイオンまで往復1,100円かかり、買い物だけで往復3時間以上かかる。隣の橋本市は年2回抽選があり、第2希望まで聞いて、空いているところに入居できると聞いている。五條市は、例えば3戸空いていても、1戸に応募が集まり、他の2戸に応募がなくても、後で抽選はせず、空室のままで入居させない。高齢で体が不自由で買い物に何時間もかかる場合などは、市営住宅から市営住宅に移れるようお願いする。